

# 申緑が丘

自主  
健康  
友愛



←学校HP  
はこちら

## まなびフェスト（中間評価）について

数値は、肯定的回答の割合（A+B）を示しています。

A：あてはまる B：あてはまるほうだ C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

	学校の取組	生徒の姿	家庭の協力
自主	わかりやすい授業 ・「いわての授業づくり3つの視点」に即した授業実践 ・学習内容定着を意図した個別最適な学びの実現 【教職員】100%(A:9% B:91%)	<b>自ら学ぼうとする</b> 【生徒自身】98%(A:62% B:36%) 【教職員から見て】100%(A:18% B:82%)	学習時間の設定 ・家庭学習を始める時刻の習慣化 【保護者】46%(A:14% B:32%)
	調べ学習、対話的な授業 ・学習の振り返りの授業への位置付け ・協働的な学びの場面 【教職員】82%(A:27% B:55%)	<b>学び方がわかる</b> 【生徒自身】87%(A:39% B:48%) 【教職員から見て】91%(A:0% B:91%)	一緒にノーマディア ・火曜日を原則として、約束の時間に1時間以上メディアから離れた、学習や読書、団らんの場の設定 【保護者】20%(A:6% B:14%)
	授業と連動した家庭学習 ・授業内容の定着や学習内容の反復を意図した課題の設定 【教職員】73%(A:27% B:45%)	<b>自己評価し、取組改善する</b> 【生徒自身】90%(A:38% B:52%) 【教職員から見て】82%(A:9% B:73%)	通知票（家庭欄）への励まし記載 ・得意を伸ばし、苦手にも向き合える励まし 【保護者】85%(A:49% B:36%)
健康	給食・清掃指導の充実 ・役割が分かり、目的的に行動できるように指導 【教職員】100%(A:50% B:50%)	<b>生活リズムが整っている</b> 【生徒自身】88%(A:43% B:44%) 【教職員から見て】100%(A:8% B:92%)	家庭での役割を持つ ・いないと困る役割と「ありがとう！」 【保護者】56%(A:29% B:27%)
	防災（危機管理）学習の充実 ・生きる力につなぐ防災訓練や避難訓練の計画的実施 【教職員】92%(A:42% B:50%)	<b>安全感覚を備えている</b> 【生徒自身】99%(A:81% B:18%) 【教職員から見て】92%(A:33% B:58%)	地域防災についての話し合い ・身の回りの整理整頓の推進 ・緊急時避難先の確認 【保護者】47%(A:7% B:40%)
	教育相談、生活アドバイスの徹底 ・やりとり帳やアンケートへの対応 ・SOSの出し方指導の実施 【教職員】100%(A:50% B:50%)	<b>心身が健康である</b> 【生徒自身】91%(A:77% B:14%) 【教職員から見て】100%(A:25% B:75%)	必要時の早期治療 ・感染症予防など心身の健康の保持増進 ・徒歩通学の実施 【保護者】86%(A:29% B:56%)
友愛	2往復以上の声かけの推進 ・集団におけるコミュニケーションの場の設定 ・健康観察の充実と共有（報告・連絡・相談） 【教職員】92%(A:42% B:50%)	<b>良好な対人関係をつくる</b> 【生徒自身】94%(A:77% B:18%) 【教職員から見て】100%(A:33% B:67%)	8つのあいさつや返事の継続 【あいさつ】「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます」「ただいま」「おやすみなさい」 【返事】「はい」「ありがとう（ごめんなさい）」 【保護者】84%(A:33% B:51%)
	活躍の場の保障 ・校内での役割の充実 ・大会や作品応募などの機会の確保 【教職員】100%(A:67% B:33%)	<b>自分のよさが分かる</b> 【生徒自身】83%(A:38% B:46%) 【教職員から見て】92%(A:8% B:83%)	会話・対話 ・目を合わせた会話の推進 【保護者】95%(A:55% B:40%)
	各種活動への参加の支援 ・呼びかけの推進 ・生徒発案事業の支援 【教職員】100%(A:50% B:50%)	<b>ボランティアに参加しようとする</b> 【生徒自身】87%(A:42% B:44%) 【教職員から見て】92%(A:25% B:67%)	褒める・励ます ・地域との接点の支援 【保護者】92%(A:45% B:47%)

## <学校経営に関する保護者評価>

### 【自主】自ら考え、進んで学習する生徒 肯定的回答74%

保護者の皆様より（自由記述 一部抜粋）

- 家庭学習はまかせきりで分からないが、自分なりに頑張っていると思う。
- 自ら学ぶことを楽しんでいるようです。
- 親が声を掛ける前に自分で考え、学習する様子が見られる。しかし、学び方が難しいのか、分からないようになっても勉強の仕方が同じだと実力がつかない。
- 宿題を増やしてほしい。
- 授業によっては教科書を読み上げるだけの授業があると聞いている。

家庭学習については、授業との連動を図りながら「やりがいのある学習」につなげたいと取り組んでいますが、まだ十分とは言えない状況です。また、授業についても、説明中心の進め方から、生徒の対話や活動を確保するなど、指導の改善・充実に努めてまいります。

### 【健康】たくましい心身をもち、実践力のある生徒 肯定的回答87%

保護者の皆様より（自由記述 一部抜粋）

- 良く食べ、学校生活を楽しんで毎日よくやっています。
- 大人の方が挨拶がなかったりする場合に、先に挨拶をしてもらうと何かうれしいと同時に、大切さを知る事ができた。
- 早寝早起きを頑張してほしい。
- 小学校に比べて、コロナウィルス対策が不十分だと思う。
- 部活動の時間、休日の練習が少ない。

生徒会では岩中三大文化の一つに「挨拶」を掲げ、学級や部活動での取組を進めています。生活リズムの乱れについては、スマホやタブレット等による、友達とのやりとりやゲーム、動画視聴などを遅くまでやっていると困るというご家庭のお話をうかがいます。学校では情報メディアとの付き合い方の学習機会を設けたり、生徒同士の話し合いを行ったりしながら改善に努めてまいります。

### 【友愛】郷土を愛し、心豊かな生徒 肯定的回答92%

保護者の皆様より（自由記述 一部抜粋）

- 新しい仲間にも後輩とも仲良くしていると思う。
- 学年が上がることで下の学年にも目がいくようになったと思う。ボランティア活動も参加しました。
- 時間が合えば、地元の行事には進んで参加を行います。
- クラス内でトラブルが多いと聞いている。

中学校入学や学校統合等により新しい仲間と集団をつくっている最中です。1学期前半は友人関係のトラブルもありましたが、話し合いや指導を重ね、日々成長を見せています。多様性を尊重することの大切さを伝えながら、集団としてさらに高まるよう指導してまいります。

## 学校運営協議会委員の皆様から

9月15日（土）、第2回学校運営協議会を開催しました。その中で、まなびフェスト中間評価に関するご意見やご感想をいただきましたので、一部を紹介いたします。

- ・「自分のよさがわかる」について、保護者は我が子をよく褒めてほしい。
- ・「地域防災」について、家庭内で災害時の避難方法など、話し合いの機会をもってほしい。
- ・「生活リズム」「安全」「心身の健康」は、すべての活動の基盤となるもので、何よりも大切にしてほしい。
- ・「安全」について、AED講習会の実施や避難所の備蓄（段ボールベッド、毛布等）について学校は検討してほしい。